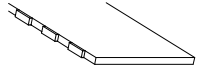
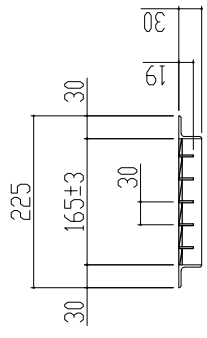
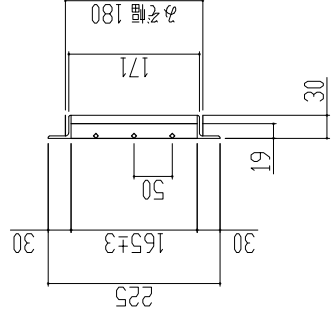
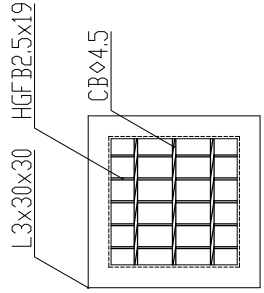


車輪進行方向横断



重量 1.4 kg

主部材詳細図

表面処理 本体は溶融重鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)

訂正年月日 標準製作図面 試作図面 特注図面 検討図面	訂正年月日	訂正年月日	訂正者	承認印	承認印	検査印	製図	図名	四面ソバ付き(ハイテン) グレーチング 溝幅180用 並目 ノンスリップ 歩道用 LNFL19-165/165	MK 株式会社 MK駐輪事業部	MGK-L-519
	訂正番	訂正年月日	訂正者	承認印	承認印	検査印	製図	図名			
	訂正番	訂正年月日	訂正者	承認印	承認印	検査印	製図	図名			
	訂正番	訂正年月日	訂正者	承認印	承認印	検査印	製図	図名			

グレーチング強度計算書



仕様	品名	LNLF19-165/165
	製品寸法	165x165x19
	主部材	FB - 2.5 × 19

設計条件	支点間距離	L= 180	許容たわみ量	$\delta b = L/500 = 0.36$
	主部材ピッチ	O= 30 mm	ヤング係数	E = 205800 N/mm ²
	断面二次モーメント	I= 0.1428 cm ⁴ = 1428 mm ⁴		

強度計算	3	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。 $\omega = \text{設計強度} \times \text{ピッチ}$ より $\omega = 0.005 \times 30$ $\omega = 0.15$ (N/mm)
		2. ベアリングバーの最大たわみ: δ (mm)を求める。 $\delta = 5 \times \omega \times L^4 / 384 \times E \times I$ より $\delta = 5 \times 0.15 \times 1049760000 / 384 \times 205800 \times 1428$ $\delta = \underline{0.007 \text{ (N}\cdot\text{mm)}} \leq 0.36$ (許容たわみ量)

4 総括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
------	------------------------------------------------